

教育課程

- ・本学の教育目的, 特徴
- ・講義形態(大学と高校との相違点)
- ・単位制
- ・科目の構成
- ・卒業・進級に必要な単位
- ・試験・成績
- ・学科所属
- ・研究指導

教育課程(カリキュラム)

○試験・成績、学科所属、研究指導について説明します。

定期試験(履修の手引き84頁～)

試験種別	前期科目 (1・2単位)	前期科目 (4単位)	後期科目 (1・2単位)	後期科目 (4単位)	通年科目 (4単位)
前期中間試験	×	○	×	×	×
前期期末試験	○	○	×	×	○
後期中間試験	×	×	×	○	×
後期期末試験	×	×	○	○	○

- ※ 授業中に随時行う試験もある
- ※ 追試験は原則行わない
- ※ 再試験の制度は無い

2

試験(履修の手引き76頁)

○定期科目試験には「前期中間試験」「前期期末試験」「後期中間試験」「後期期末試験」の計4回実施されます。

○「前期中間試験」「後期中間試験」は半期に4単位＝週2コマの学科科目を対象としています。なお、1年次配当科目はありません。

○試験の方法は、筆記試験、口頭試験若しくはレポートによるのが通例で、科目によっては上記の定期試験期間以外にも随時実施されます。

○本学では不合格になった科目の再試験はありませんが、追試験について「原則として行わない」としています。この点について補足します。

本人の責によらない、やむを得ない事由により受験できないケースがあると思います。例えば、インフルエンザなどの法定感染症、親族の忌引き、或いは災害及び不慮の事故などにより突発的に試験を受けられない場合などですが、その場合は例外的に追試あるいはレポート等の代替措置を講ずることがあります。ただし、実施するかどうかは、あくまでも担当教員の判断に任されています。このようなケースが生じた場合には、学部教務係に速やかに届け出る必要があります。

○履修登録をしていない科目の受験は認められませんので注意願います。

定期試験時には通常、座席番号が張り出されます。その時になって、自分の学生番号が座席番号表に記載されていないということで窓口に来る学生がいます。しかし、この場合、受験はできません。これまで申し出があっても受験を認めたケースはありません。この点、注意してください。履修登録は本人が行いますが、その履修確認は必ず自分で行うことになっています。勘違いで履修登録がされていない場合、その責任は本人に帰すことになります。

「履修登録」後の「履修確認」は必ず行うようにしてください。

試験の際の注意事項

- 科目試験の受験に際しての注意事項
履修の手引き84頁
- 不正行為について
※学則に照らし厳重に処分する。
※その学期に履修した全ての単位が認定
されない(卒業が1年延期される)。

3

【科目試験の受験に際しての注意事項】

- 試験の際の注意事項につきましては、「試験の受験に際しての注意事項」が載っています。
- 受験の際は、必ず学生証を携帯する必要があります。
- 紛失等で、学生証をなくした場合は、再交付の手続きをとってください。
- 本学では、不正行為(カンニング)を行った者に対し、学則に照らし、厳重に処分されます。
- その学期に履修した全ての科目の単位が、研究指導を除いて認定されません。したがって、卒業が1年以上延期することもあります。
- 受験する場合は、必ず科目受験条件を確認してください。
- 不正行為とされる、一つの例として、「手書きノートのみ持ち込み可」という条件の科目試験で、ノートのコピーを持ち込んでいた場合や「書き込みのある六法持ち込み不可」という条件の場合に六法全書に、書き込みをしてあった場合等があります。
- 過去には、カンニングペーパーで停学処分になった学生がいます。当たり前ですが、依頼した学生、依頼された学生とも停学処分となり卒業が一年以上延期となっています。
- 試験を実施する教室と座席は、試験当日にmanabalによりお知らせします。

成績評価(履修の手引き86頁)

- 単位の認定(科目修了の認定)

秀 (A)	100点～90点	合 格
優 (B)	89点～80点	
良 (C)	79点～70点	
可 (D)	69点～60点	
不可(F)	59点以下	不合格

4

成績評価

○成績評価については、このページの単位の認定(科目修了の認定)以下を読んでおいてください。

○また、学業成績は、定期試験終了後、成績処理を終えた9月1日と3月1日にキャンパススクエアで見られるようにしますが、それまでは、一切窓口で成績は教えられませんのでご承知置きください。

学科所属決定方法(履修の手引き89頁～)

(1)所属の決定

- ①成績基準による序列表を作成し、学科定員までを所属決定します。
- ②学科定員を超えた者は、成績順で第2志望以下に振分けます。
- ③成績順位の上の者の第2希望の方が、成績順位の下の方の第1希望よりも優先される。

5

学科所属

○次に、昼間コース学生の学科所属について説明いたします

○1年次生は、総合的なカリキュラムのもとで学習することとなりますが、2年次生から経済学科、商学科、商学科英語専修、企業法学科、社会情報学科のいずれかの学科に所属することになります。

○来年の1月中旬に、希望学科の申請の受付を行い、教授会で決定されます。

○各学科には、それぞれ定員を定めており、1年次に修得した成績を基準に選考しますので、必ずしも第1希望の学科に所属できるとは限りません。

(2)成績基準

次の科目区分に該当する科目の素点合計

基礎科目 (成績得点の高い順に)	4科目以上 8単位
外国語科目 (英語及び日本語は2科目とする)	3科目
基幹科目 (成績得点の高い順に) ※商学科英語専修の基幹科目は除外する。	3科目

注: 健康スポーツ等の(1単位)は得点を1/2とする。

健康スポーツ1科目(1単位)しか修得していない場合は他の2単位科目の得点を1/2にして健康スポーツと合計し、2単位分を算出する。

6

○選考基準は、「(1). 学科所属決定方法」にあるとおり、基礎科目4科目以上8単位、外国語科目3科目、基幹科目3科目の素点合計とし、該当科目数以上を修得している場合は、成績が上位の科目より計算されます。

○修得した該当科目数がこの表の科目数に満たない場合は、修得した科目のみを計算対象とするため、素点合計が少なくなることとなります。

○ですから、1年次においては、基礎科目4科目8単位、外国語科目3科目、基幹科目3科目は必ず修得するようにしてください。

1点注意事項があります。商学科の英語専修 基幹科目に記載のある「英語学概論Ⅰ・Ⅱ」「英文学史Ⅰ」「英文学概論Ⅰ」「英語コミュニケーションⅠ」「比較文化Ⅰ」はⅠ年次配当の基幹科目ですが、成績基準より除外されますのでご注意ください。

○上位科目の中に、健康スポーツのように1単位科目がある場合の素点計算方法については、履修の手引きを確認しておいてください。

○なお、入学前に他大学で取った既修得単位がある場合も、配当年次1年次のものに限り選考基準に含まれますが、素点については秀を90点、優を80点、良を70点、可を60点に換算して計算することになります。

○学科所属の通知は4月の授業開始時に、今後皆さんが成績等を確認する際に使用するキャンパススクエアの履修成績参照画面に所属学科が記載されます。

○学科所属に係るオリエンテーションは、(12月中旬頃)に開催しますので、必ず参加してください。

○所属学科が決定して、1年間勉強してみてもどうしても学科の所属を変更したいという場合は、履修の手引きの「(3). 学科変更手続き」に基づいて「転科希望理由書」を提出してください。ただし、提出にあたっては各学科の学業成績基準をクリアしている必要があります。転科理由、成績、学科定員を勘案し、転科の可否が決定されます。

研究指導(ゼミ) (履修の手引き92頁～)

- 12単位(3年次, 4年次)で原則必修。
- 原則は、所属する学科、または、専門共通科目の研究指導を履修
- ノンゼミは、学科承認を受ける必要あり。
- ゼミの選考時期は2年次後期です。

7

研究指導

○研究指導について説明します

○皆さんは、3年生になったら研究指導、いわゆるゼミを履修する必要があります。

○研究指導は、原則として必修科目であり、毎週3時間、3年次から2年間の継続授業で12単位(卒業論文を含む)となっております。

○選考時期は2年次後期です。

早いうちから、自分の興味のある分野や所属したいゼミを検討しておく、ゼミ選考時にスムーズに活動することができるかと思います。